

令和5年度分科会活動報告

血液内科遠隔医療分科会
SIG Remote Hematology
分科会長 西川 彰則
和歌山県立医科大学

1. 分科会の目的

血液疾患患者診療における遠隔医療（同種移植後患者の遠隔 LTFU、在宅輸血の見守りなど）の普及と診療報酬を検討する。

2. 令和5（2023）年度活動実績と成果

(1) 第27回 日本遠隔医療学会学術大会 一般演題

「患者付添人によるバイタルサインデータ測定を利用した在宅輸血の安全な遠隔見守りの検証」

分科会長が在宅輸血の遠隔見守りの研究報告を行った。

(2) 令和5年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業（厚労省）

分科会長を中心に、兵庫県合同輸血療法委員会にて「研究課題名：ミリ波センサーを用いた在宅輸血時危険行動検知システムの開発」の研究事業を実施した。赤坂クリニックの在宅輸血患者2名に対して、在宅輸血中の危険行動の遠隔見守りをミリ波センサーで検出できるかどうかの実証研究を行った。

3. 令和6（2024）年度活動計画

(1) 普及啓発：遠隔 LTFU 導入の手引きを作成し、全国の同種移植実施施設への普及啓発に努める。

(2) エビデンスの創出と保険収載への働きかけ：遠隔 LTFU (D to P with D) の有効性の実証および在宅輸血の遠隔見守りの有効性の実証を行い、それぞれの保険収載に向けての働きかけを行う。